

『驚きを隠せない！巨木を発見！』

3月11日(水),菜の花の写真を撮りに行こうと、野方へ向けて車を走らせていると,巨木に満開の白い花が咲いているのが目に飛び込んできました。巨木(根回り3m35cm・高さ約15m)があったのは池田彰さん宅(横内集落)の裏山で,斜面から天空に向けてそびえ立つその姿は悠然としていて,白い花がその姿に華やかさを持たせていました。

この木の名は,歌手の千昌夫さんの大ヒット曲『北国の春』にもでてくるコブシという木で,専門家によると「こんなに大きなコブシが自生しているのは初めて見ました。全国でもとても珍しいです。」と驚きを隠せない様子でした。町文化財保護審議員の小野辰雄さんは「コブシの花が咲き始めた頃にカライモと稲の苗床を準備すると教えられました。」と自身が幼少の頃をしみじみと思い出しながら話されていました。

3月25日(水),町教育委員会では,このコブシを新たに町の指定文化財として保護していくことを決定しました。



『持留川に春の音色♪せせらぎコンサート』

3月15日(日),大崎町せせらぎ公園で『せせらぎコンサート』(全国モーターボート競走施行者協議会助成事業)が開催されました。

このコンサートは、『くにの松原ネイチャーゲームの会』が主催したもので,年間を通じ持留川の水質調査や指標生物調査を子供たちと実施し,地域住民が川に親しみ自然環境を再確認し環境保全の啓発を目的とした事業の一環です。

当日は,子どもたちによる活動報告や合唱が発表され,水辺のステージでは,普段聞けないクラリネット,バイオリンなどの演奏が披露されました。

大自然の中で川のせせらぎを聞きながら,音楽を聴くことで水や自然の大切さや人と人とのつながりを感じました。

『すこやか交流会が開催！』

3月5日(木),町中央公民館において,第2回すこやか交流会が開催されました。これは『からだもこころも楽しくなる』をテーマに,町健康運動普及推進員協議会が開催し,マスターズプロジェクト,老人クラブ,スリム会,おやっとさあなどに参加している65歳以上の高齢者78人が参加しました。

井上由香里先生による『かんたんリズム体操』,推進員による楽しいゲーム,各グループからの出し物などで楽しく交流しました。昼食には食生活改善推進員さん手作りの豚汁とおにぎりをみんなでうれしそうにほおぼっていました。

